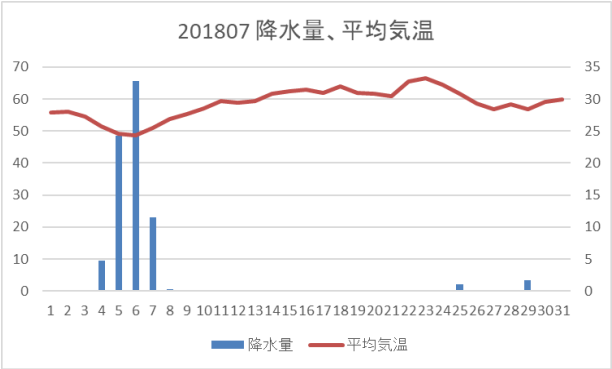
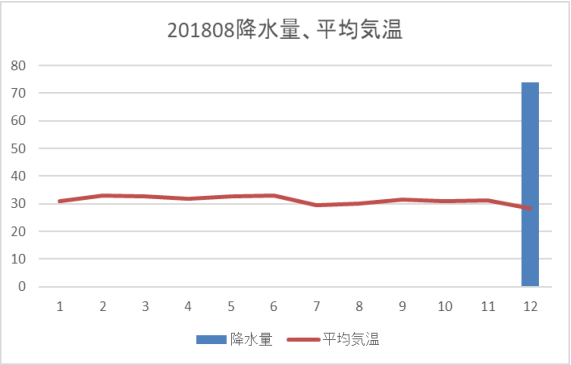
異常気象

7 月 8 日から 8 月 11 日まで 35 日間の降水量は僅か 6 ㎜でした。加えて、平均気温が 30℃以上の日が 22 日もあるという異常な気象が続きました。更に、8 月 3 日は最高気温 40.3℃と言う名古屋市観測史上最高温度を記録しました





昨年修理した井堀下池の水もほとんど底を尽き、棚田も厳しい状況となっていました。

井堀下池　圦の一番下の栓まで見える

井堀下池　中央のみに水が残っている

棚田の土に割れ目が入った

メダカ池

8 月 12 日、36 日ぶりにまとまった雨が降りました。 気象台で 74 ㎜
局地的な降り方だったので実際の雨量は分かりませんが、恵の雨となりました。

井堀下池　圦の２番栓まで水が蓄えられた

棚田に水が行き渡り、井堀下池も 25 ㎝程水深が深くなりました。
乾燥していた棚田の中を覗くとドジョウが沢山泳いでいました。どこに居たのか？土の中深く潜っていたのかもしれません。ヌマガエルも多数出てきていました。
9 月 9 日に発表がある、いたかの森の昔話 http://sizen.ciao.jp/index/20180401R.pdf
のインタビューで、「昔は水争いが良くあったと」お聞きしましたが、わずか 30 アールの田んぼでも下池の半分くらいの水を使い切ってしまう状況を見ると、なるほどと実感がわいてきます。

メダカ池